

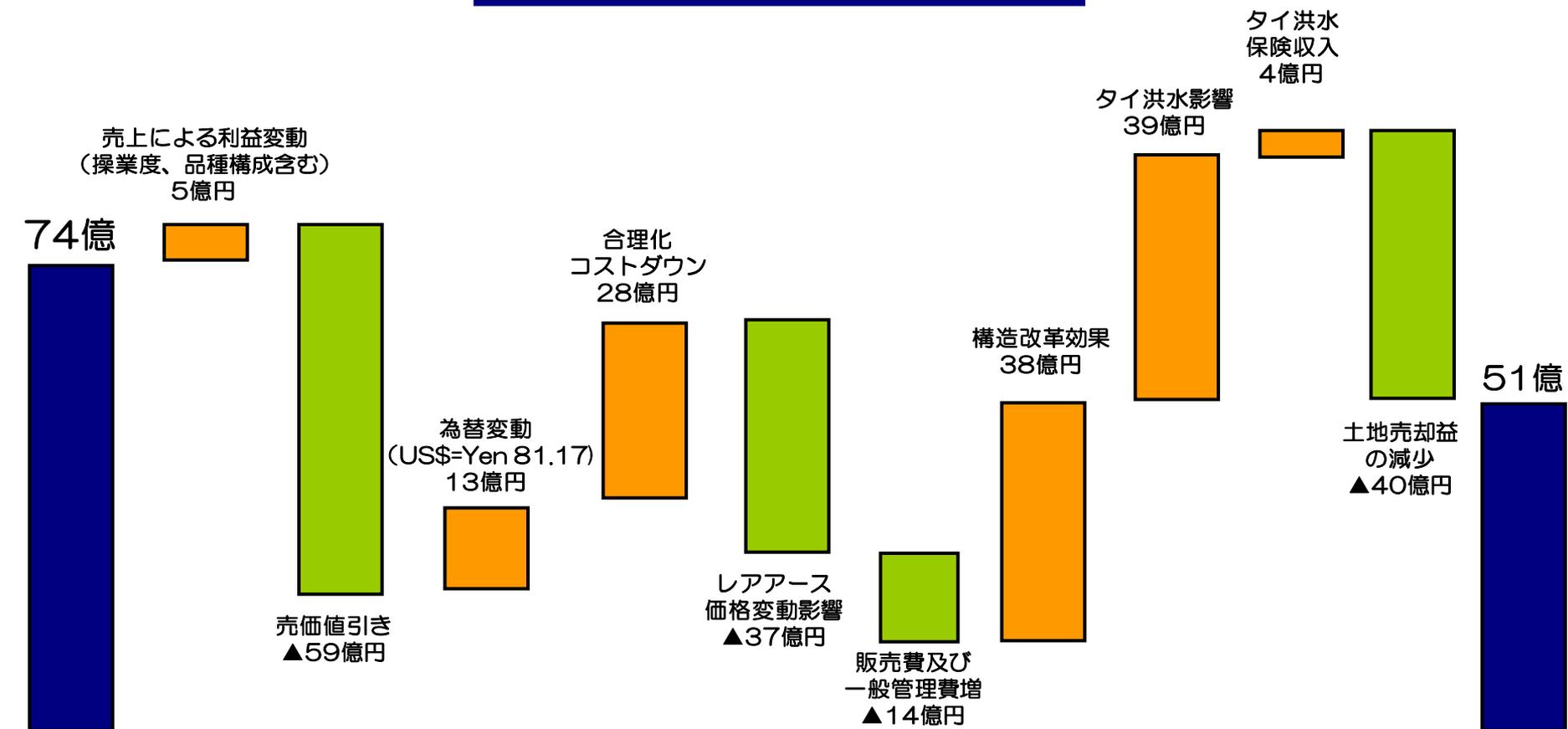
2013年3月期 第3四半期連結業績概要

TDK株式会社
執行役員/経理部長
桃塚 高和

(億円)	2012年3月期 第3四半期実績 (2011.10.1~2011.12.31)	2013年3月期 第3四半期実績 (2012.10.1~2012.12.31)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	1,913	2,154	241	12.6
営業利益	74	51	△ 23	-31.3
営業利益率	3.9%	2.4%	△1.5 pt	-
継続事業税引前利益	36	29	△ 7	-18.9
当期純利益	-116	4	121	-
1株当たり利益(円)	△ 90.24	3.33	-	-
為替	対ドルレート	77円35銭	81円17銭	4.9%の円安
	対ユーロレート	104円30銭	105円28銭	0.9%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約87億円の増収 営業利益：約13億円の増益			

第3四半期営業利益増減分析

営業利益の減少 23億円



2012年3月期
第3四半期

2013年3月期
第3四半期

2013年3月期第3四半期 連結業績概要



(億円)		2012年3月期 第3四半期 (2011.10.1~2011.12.31) (A)	2013年3月期 第2四半期 (2012.7.1~2012.9.30) (B)	2013年3月期 第3四半期 (2012.10.1~2012.12.31) (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
		増減	増減率(%)	増減	増減率(%)			
売上高	コンデンサ	306	292	266	△ 40	-13.1	△ 26	-8.9
	インダクティブデバイス	286	296	306	20	7.0	10	3.4
	その他受動部品	304	317	360	56	18.4	43	13.6
	受動部品合計	895	906	931	36	4.1	25	2.8
	記録デバイス	420	558	602	182	43.3	44	7.9
	その他磁気応用製品	260	276	240	△ 20	-7.7	△ 36	-13.0
	磁気応用製品合計	680	834	842	162	23.8	8	1.0
	フィルム応用製品合計	282	277	330	49	17.3	53	19.1
	その他	57	52	50	△ 7	-11.7	△ 2	-3.8
	合計	1,913	2,070	2,154	241	12.6	84	4.1
営業利益	受動部品	15	△ 25	△ 18	△ 33	-	7	-
	磁気応用製品	70	132	75	5	7.5	△ 57	-43.2
	フィルム応用製品	29	50	36	7	23.8	△ 14	-28.0
	その他	△ 7	△ 5	△ 6	1	-	△ 1	-
	小計	108	152	88	△ 19	-18.1	△ 64	-42.1
	全社および消去	△ 34	△ 41	△ 37	△ 4	-	4	-
	合計	74	112	51	△ 23	-31.3	△ 61	-54.5
営業利益率		3.9%	5.4%	2.4%	-	-	-	-
為替	対ドルレート	77円35銭	78円67銭	81円17銭				
	対ユーロレート	104円3銭	98円28銭	105円28銭				

下半期為替前提
米ドル:77円
ユーロ:100円

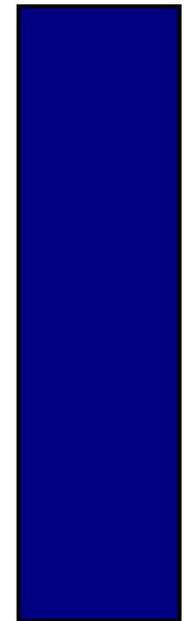
営業利益の減少 220億円

第4四半期
為替前提
米ドル:85円
ユーロ:115円

第3四半期為替実績:
米ドル:81.17円
ユーロ:105.28円

為替変動
51億円

410億円



数量増減
(コスト改善効果
未達含む)
▲184億円



稼動損
▲52億円

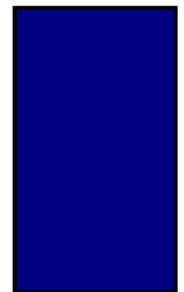


レアアース
価格変動影響
▲25億円



構造改革費用
▲10億円

190億円



前回
(12年10月)

今回
(13年1月)

2013年3月期4Q 連結売上高増減イメージ



セグメント 区分	第1四半期 実績	第2四半期 実績	第3四半期 実績	第4四半期 予想 (対3Q比)	備考
受動部品	915	906	931	+2~4%	
磁気応用製品	882	834	842	-8~-10%	HDDヘッド及びマグネットの 販売が減少見込み
フィルム 応用製品	232	277	330	-17~-19%	二次電池の販売が顧客生産調整 により減少見込み
その他	58	52	50	-5~-10%	
合計	2,087	2,070	2,154	-5%	

為替レート \$/Yen 80.27 78.67 81.17 (4Q前提) 85.00

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2013/3q_1.htm